

12月議会の日程が決まりました。

市議会議員選挙が終わり、初めての議員一般質問となる12月議会が下記の日程でおこなわれます。皆様のご要望や、ご意見をお寄せください。また、議会の傍聴にお誘い併せておこしてください。

12月 5日(火) 市長提出議案説明

11日(月)～13日(水) 議員質疑・質問

14日(木) 総務企画委員会・厚生文教委員会

15日(金) 産業建設委員会

※委員会の傍聴をされる場合、議員に連絡ください。

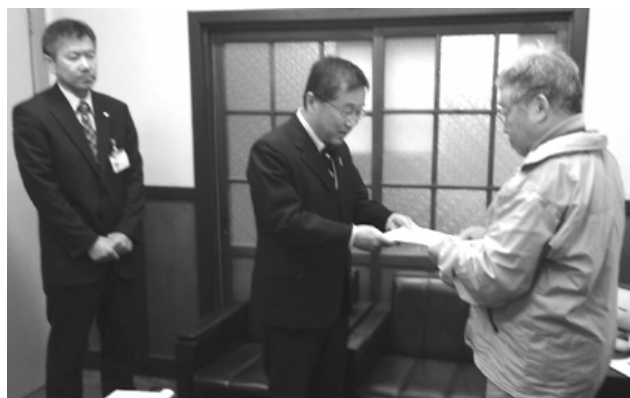
18日(月) 委員会報告・質疑・討論・表決

長浜での地域循環バスの導入を求める

要望書が提出されました。

11月14日、長浜町地域の「長浜町の公共交通を考える会」が武内会長以下5名で、大洲市に長浜地域に地域循環バスの導入を求める要望書230筆を提出しました。梅木かつこ市議も同席しました。大洲市の総合政策部長兼えひめ国体推進課長である森田比登志氏と藤原課長に手渡ししました。

参加者からは、『小浦から銀行や郵便局に行くにもあしがない。なぎさの湯に来るにも冬は大変。次第に高齢化して歩いてはこれない。』、『循環バスができれば、小浦団地の中に停留所つくってほしい。』、『今でもダイエーに買い物にタクシーで行く人もいるようになった。小規模でもいい。地域の公共交通を実施してほしい。』、『急いでもらったほうが有難い。』、『めまいがしても、車を運転するようになる。安心して生活できるようにしてほしい。』、『風が強い日は、病院に行くにもタクシーで行く。』などが伝えられました。



森田部長＝今年1年間で調査し、持続性の高い計画を立てたい。大洲市の重点課題と思っている。市長も新しい課を立ち上げて対応している。長浜地域に地域公共交通がないことは知っている。大洲市全体で、今年度中にパターンを提示し、策定できたら、来年度地域の方のご意見をお聞きしていきたい。

決算委員会で明らかになったこと

大洲市の平成28年度一般会計で予算化していて、使わなかった不用額の総額が19億円にもなることが明らかになりました。市民の皆さんの要望には、財政が厳しいといい、予算は余っている状況です。

決算内容の抜粋です。決算委員会は11月21日最終日です。

○大洲ぐるりんバスの維持費について

6,358,000円。車の車検と利用者減少で増えた。

(これまで500万円前後の維持費でした)

○頑張る人応援総事業費 1846万円。

○消防団員大洲市全体で1478人

○大洲市の水洗化率について

肱南89.5%、肱北40.5% 平均67.5%

○中山間直接支払い制度について

64集落で取り組み、事業総額6000万円

加計疑惑 設置審委員 最後まで「不認可」の意見

安倍晋三首相の友人が理事長の学校法人「加計(かけ)学園」の獣医学部新設申請を審査した文部科学省の大学設置・学校法人審議会の専門委員会委員は、安倍内閣が獣医学部新設の要件として閣議決定した「4条件」(別項)に、同学園が適合しているか「審査していない」と証言。審査では最後まで「(認可にふさわしくない)不可とすべき」だという意見が委員から出たことを明らかにしました。

<4条件>

▽既存の獣医師養成ではない構想▽ライフサイエンス(生命科学)など新分野での具体的な需要▽既存の大学・学部では対応困難▽獣医師の需要動向を考慮する